アメリカ、19世紀末のくびき

杉山恵子(すぎやま・けいこ)著

ISBN978-4-931178-94-6

好評発売中!

ここに、今もアメリカを悩ます
諸相の原点がある!

人種差別、異教移民の流入、拡大する貧富の格差、分断する国家。 今から約百年前、これらの諸問題を我が身に受けとめ、 果敢に挑戦した人たちがいた!

アメリカ、 ^{杉山恵子} 19世紀末のくびき



四六判・上製・288頁+口絵カラー8頁 収録写真図版:78点 定価:2400円+税

●杉山恵子 (すぎやま・けいこ)

1952年札幌生まれ。米コロンビア大学大学院歴史 学科アメリカ史専攻。M.Phil. 恵泉女学園大学名誉 教授。主な著書に、『ジェシー・ターボックス・ビール ズのアメリカ』(慶応大学出版会)などがある。

今甦る、名もなき者たちの挑戦!

19世紀末のアメリカ、南北戦争 で分断の危機にあった国家を再建 するため、リンカーンは、建国の 精神への回帰を訴えた。

しかし、やがて到来したアメリカの世紀は、人種差別、移民対策、格差の是正も宗教的寛容も置き去りにし、21世紀の今も、アメリカを悩まし続けている。



本書に登場する人たちは、富と

繁栄を求めて邁進するアメリカ帝国主義の奔流なかで、 虐げられ、置き去りにされた人々の苦しみに心を痛め、 救いの手を差し伸べようとした人たちである。

ある者は奴隷解放に奔走し、ある者は幼児教育に未来 を託し、ある者は、理想的な家族像と女性の地位向上、 社会貢献を身をもって実践した。

さらに、ある者は大都市の移民街に、貧困移民の救済施設(セツルメント)を作り、移民たちの伝統文化の復権とアメリカ社会への同化の手助けした。



だが、彼らの地道な努力 も、アメリカ社会に岩盤の ように根づいた資本主義と プロテスタント信仰のもと 歴史の片隅へ追いやられ、 アメリカは今も迷走を続け ている。

◎お近くの書店、またはネット書店(Amazon、楽天ブックス他)でお求めください。